

## 「ニューノーマルにおける新たなビジネスの取り組みとDXに関する調査」結果について

神戸商工会議所では、会員企業の①ニューノーマルにおける新たなビジネスの取り組み、②DX（デジタルトランスフォーメーション）実施の現状や活用の意向、課題などを把握するためのアンケート調査を実施し、今般取りまとめた。

今後は、本調査結果をもとに、情報提供やビジネスマッチング、デジタル活用の実証事業などを通じ、会員企業のDX導入推進を支援する。

### ■調査概要

調査目的：① ニューノーマルにおける新たなビジネスの取り組みを把握する。

② DX実施状況、ニーズ・シーズ、課題を明らかにし、DX推進支援事業の検討資料とする。

期 間：2020年12月25日(金)～2021年1月15日(金)

対 象：当商工会議所の会員事業所 4,244社（資本金1,000万円以上）

回答企業：524社（回答率12.3%）

方 法：Webアンケート（クエスタントを活用）

項 目：① 企業属性情報

② 新型コロナの影響によって取り組んだ社内対応（働き方・会議）

③ 新型コロナの影響によって“新たに”生じた課題について

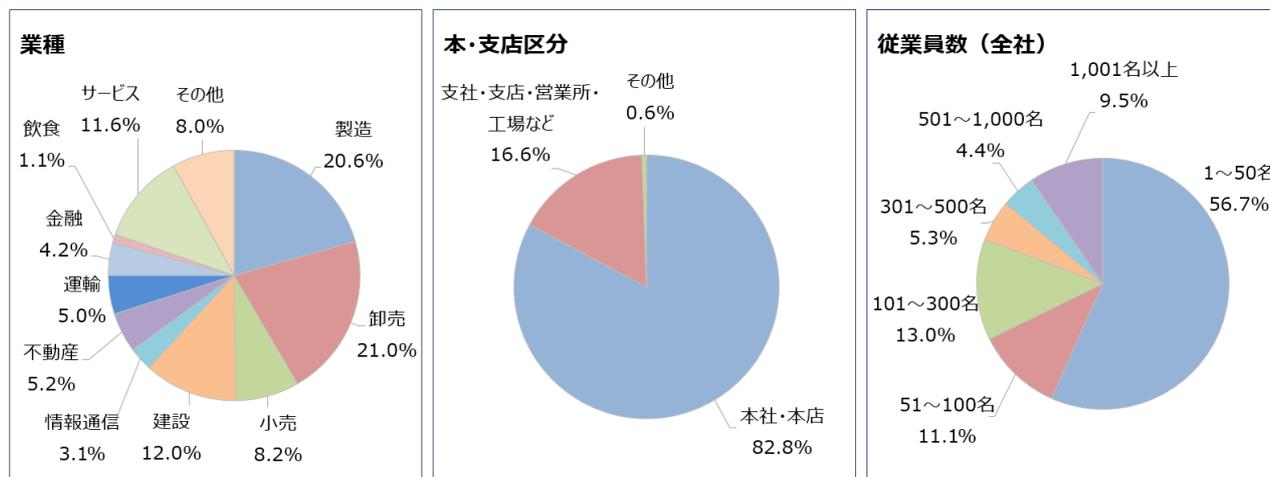
④ ニューノーマルにおける新たなビジネスの取り組み状況

⑤ DX（デジタルトランスフォーメーション）の実施状況について

⑥ DX導入ニーズについて

⑦ DX提供シーズについて

## 企業属性情報（524社）



## ■主なポイント

### 1. 新型コロナウイルスの影響 <社内対応・新たなビジネス>

#### ① テレワークの実施状況

- ・ **57%の企業が「テレワーク」実施経験がある。**
- ・ 業種別でみると、「金融」81.8%、「情報通信」75.0%と高い。  
一方、「飲食」0%、「不動産」40.7%、「建設」47.6%とバラツキがみられる。
- ・ 従業員数（全社）でみると、「1,001名以上」92.0%、「101～300名」85.3%と高い。  
一方、「1～50名」は41.1%と半数に満たない。

#### ② Web 会議システムの活用状況

- ・ **70.2%の企業が「Web 会議システム」活用経験がある。**
- ・ 業種別でみると、「金融」100%、「情報通信」87.5%と高い。  
一方、「飲食」33.0%、「不動産」44.4%、「建設」50.8%と低い。
- ・ 従業員数（全社）でみると、「1,001名以上」100%、「301～500名」92.9%、「501～1,000名」91.3%とほとんどの企業が活用している。  
一方、「1～50名」では54.5%と約半数にとどまる。

#### ③ 新たに生じた課題

- ・ **約50%の企業が「営業・販売活動（新規顧客開拓・既存顧客対応）が不十分」との課題を抱えている。**

#### ④ 新たなビジネスの取り組み

- ・ **22.3%の企業が「新たなビジネス」に取り組んでいる。**

### 2. DXの実施状況と関心度

#### ① 実施状況

- ・ DXを「実施している」17.4%、「実施していない」60.5%。
- ・ 業種別でみると、「金融」45.5%と高い。  
一方、「不動産」3.7%、「運輸」7.7%と低い。
- ・ 従業員数（全社）でみると、「1,001名以上」44.0%と高い。  
一方、「1～50名」11.4%、「51～100名」12.1%と低い。

#### ② 関心度

- ・ 自社でのDX実施や先端技術活用に「関心がある」24.8%、「分からない」53.4%。

## ■添付資料

- ・ 調査報告書

以上

【本件担当】

神戸商工会議所産業部 産業・国際チーム 兵頭・竹下

TEL : 078-303-5806 FAX : 078-306-2348 E-mail : t-hyodo@kobe-cci.or.jp